

《参考資料》

- 参考 1 評価専門調査会 名簿
- 参考 2 評価検討会 名簿
- 参考 3 審議経過
- 参考 4 評価の論点
- 参考 5 第 1 回評価検討会 経済産業省提出資料
- 参考 6 第 2 回評価検討会 経済産業省提出資料

参考 1 評価専門調査会 名簿

会長	奥村 直樹	総合科学技術会議 議員
	相澤 益男	同
	薬師寺 泰蔵	同
	本庶 佑	同
	庄山 悦彦	同
	原山 優子	同
	郷 通子	同
	金澤 一郎	同
(専門委員)		
	青木 恭介	宮城工業高等専門学校 教授
	伊澤 達夫	東京工業大学 理事・副学長
	垣添 忠生	国立がんセンター 名誉総長
	笠見 昭信	株式会社東芝 顧問
	加藤 順子	株式会社三菱化学安全科学研究所 リスク評価研究センター センター長
	北澤 宏一	独立行政法人科学技術振興機構 理事長
	久保田 弘敏	帝京大学理工学部 教授
	小舘 香椎子	日本女子大学理学部 教授
	小林 麻理	早稲田大学政治経済学術院 教授
	齊藤 忠夫	東京大学 名誉教授
	榊原 清則	慶應義塾大学総合政策学部 教授
	田渕 雪子	株式会社三菱総合研究所 主席研究員
	手柴 貞夫	協和発酵工業株式会社 技術顧問
	中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	古川 勇二	東京農工大学大学院 技術経営研究科 研究科長
	本田 國昭	大阪ガス株式会社技術部門 理事
	陽 捷行	北里大学 副学長
	宮崎 久美子	東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授

参考 2 評価検討会 名簿

奥村	直樹	総合科学技術会議	議員
原山	優子	同	
笠見	昭信	評価専門調査会	専門委員
田淵	雪子	同	
座長	古川	勇二	同
荒川	泰彦	東京大学 先端科学技術研究センター	教授
山崎	朗	中央大学大学院 経済学研究科	教授

参考 3 審議経過

- 9 月 7 日 評価専門調査会
評価検討会の設置、スケジュールの確認等
- 10 月 10 日 第 1 回評価検討会
ヒアリング、追加質問と論点候補の抽出
⇒経済産業省へ追加質問への対応を依頼
- 10 月 26 日 第 2 回評価検討会
追加ヒアリング、論点整理
⇒評価コメントに基づいて評価報告書原案を作成
- 11 月 5 日 評価専門調査会
評価報告書案の検討
- 11 月 28 日 総合科学技術会議
評価報告書案に基づく審議・決定

参考 4 評価の論点

【論点 1】

本プログラムは、科学技術政策・イノベーション政策の基本方針に照らして、地域を活性化するこれまでにない新たな施策となっているか、あるいは、各府省の関連施策を整理して全体を俯瞰することにより、従来施策の不十分な点を改善し、施策の厚みを増すものとなっているか。

また、本プログラムの産業政策上の位置づけを明確にし、効率的な支援となるような制度設計となっているか。

【論点 2】

既存の関連事業の継承すべき点、発展させるべき点等を明確にすることにより、効果的な資源投資に結びつくよう、関連事業の検証結果を活用しうる制度設計となっているか。

【論点 3】

イノベーション創出基盤形成事業とイノベーション創出研究開発事業の一体化がシナジー効果をもたらし、全体として技術シーズの発掘から事業化までがシームレスに支援されるよう、プログラムが設計されているか。

【論点 4】

産業構造や研究機関の配置等、地域の特性を踏まえ、地域産業の振興に資する最先端技術のシーズを発掘するとともに、これらの事業化を促進することができるよう制度設計がなされているか。

【論点 5】

本プログラムの事業化率の目標は、イノベーション創出の観点において適切な定義に基づいた設定となっているか。また、事業化率の向上によりイノベーションを創出し、それを地域の活性化に結びつけるために、関連する施策と連携する仕組・体制等が整備されているか。

【論点 6】

本プログラムの予算規模は、事業内容に対し合理性、適切性の観点から妥当なものになっているか。

参考 5 第 1 回評価検討会 経済産業省提出資料

- 総合科学技術会議評価専門調査会「地域イノベーション協創プログラム」評価検討会(第 1 回)

[資料 2]

- 経済産業省 「平成 20 年度予算概算要求等に係る事前評価書」より抜粋 個別事業評価書

[資料 3]